

令和4年度老施協第1回総会 次第

日時 令和4年5月27日(金)

午後2時45分から

場所 富山県総合福祉会館

1階福祉ホール

(ライブ配信 ZOOM)

あいさつ

議 事

- ・第1号議案 令和3年度事業報告について
- ・第2号議案 令和3年度収支決算について
参考資料(元年度～3年度収支決算推移について)
- ・第3号議案 協議会役員の承認について

報告事項

- ・富山県老人福祉施設大会の開催について
- ・東海北陸ブロック富山大会について

その他 参考資料

富山県老人福祉施設協議会

令和4年度第1回総会議案

第1号議案 令和3年度事業報告について

第2号議案 令和3年度収支決算について

第3号議案 協議会役員の承認について

令和4年5月27日

富山県総合福祉会館

富山県老人福祉施設協議会

第1号議案

令和3年度事業報告について

富山県老人福祉施設協議会規約第12条第3項第2号の規定に基づき『令和3年度事業報告書』を別紙のとおり提出いたします。

令和4年5月27日

富山県老人福祉施設協議会
会長 岩井 広行

【概要】

当協議会の複数の施設においては、「新型コロナ」施設クラスターの発生で、「施設内療養」が必要となり、通常のサービス提供では想定されない感染対策の徹底が求められるなど厳しい環境のなかにあります。また、濃厚接触者として職員が自宅待機になるなど施設運営にも影響がある状況でありました。

しかし、そのような中でも、高齢者の介護サービスの担い手として、また地域福祉の拠点としての役割に務めてきております。

一方、研修会については、十分な感染症対策を行いながら集合研修のほかにオンライン研修会の活用を行い実施しました。

【運営】

●総会

第1回（感染拡大防止のため開催中止…書面議決(可決)）

日時 令和3年5月28日（金）午前10時45分から
会場 富山県総合福祉会館
議題 (1) 令和2年度事業報告について
(2) 令和2年度収支決算について
(3) その他

第2回

日時 令和4年3月24日（木）午前10時45分から
会場 富山県総合福祉会館
議題 (1) 令和4年度事業計画（案）について
(2) 施設負担金の改正について
(3) 令和4年度収支予算（案）について
(4) 老施協とデイ協の統合について
(5) 東海北陸ブロック富山大会について
(6) その他

●理事会

第1回

日時 令和3年5月21日（金）午後3時から
会場 富山県総合福祉会館
議題 (1) 令和2年度事業報告について
(2) 令和2年度収支決算について
(3) その他

第2回

- 日時 令和4年2月24日(木) 午後3時から
会場 富山県総合福祉会館
議題 (1) 令和4年度事業計画(案)について
(2) 施設負担金の改正について
(3) 令和4年度収支予算(案)について
(4) 老施協とデイ協の統合について
(5) 東海北陸ブロック富山大会について
(6) その他

●委員会

総務委員会〈第1回〉

- 日時 令和3年5月13日(木) 午後2時から
会場 富山県総合福祉会館(オンライン開催)
議題 (1) 令和2年度事業報告について
(2) 令和2年度収支決算について
(3) 富山県老人福祉施設大会について
(4) その他

〈第2回〉

- 日時 令和4年2月10日(木) 午前11時から
会場 富山県総合福祉会館(オンライン開催)
議題 (1) 令和4年度事業計画(案)について
(2) 施設負担金の改正について
(3) 令和4年度収支予算(案)について
(4) 東海北陸ブロック富山大会について
(5) その他

研修委員会

- 日時 令和3年7月20日(火) 午前10時から
会場 富山県総合福祉会館(オンライン開催)
議題 (1) 令和3年度研修及び令和4年度研修計画について
(2) 部会担当施設について

調査研究委員会

- 日時 令和3年8月27日(金) 午前10時から
会場 富山県総合福祉会館(オンライン開催)
議題 (1) 令和3年度老人福祉施設等現況調査について
(2) 第34回研究レポートの実施について

<結果報告>

令和3年12月に調査票提出施設に調査結果の報告書を配付。

政策委員会

日 時 令和3年8月18日(水)午後2時から
会 場 富山県総合福祉会館
議 題 (1) 令和2年度老人福祉施設関係予算等に関する要望事項
について
(2) 要望時期について

<要望書提出>

日 時 令和3年10月19日(火)午前10時から
会 場 富山県厚生部長室
出席者 老施協会長・副会長、デイ協会長、

<養護老人ホーム・軽費老人ホーム・ケアハウスの職員の処遇改善要望>

日 時 令和4年1月下旬
要望先 富山県、富山市、高岡市、南砺市等

【各種会議】

第1回老施協正副会長等会議

日 時 令和3年4月15日(木)午後2時から
会 場 富山県総合福祉会館
議 題 (1) 専門部会の開催について
(2) 富山県老人福祉施設大会の開催について
(3) 東海北陸ブロック(三重)大会の開催について

第2回老施協正副会長等会議

日 時 令和3年10月7日(木)午後2時から
会 場 富山県総合福祉会館
議 題 (1) 令和4年度老人福祉施設関係予算の県要望について
(2) 東海北陸ブロック(三重)大会の開催について

第3回老施協正副会長等会議

日 時 令和4年1月6日(木)午後3時30分から
会 場 富山県総合福祉会館
議 題 (1) 令和3年度東海北陸ブロック会長会議について
(2) 東海北陸ブロック富山大会について
(3) 全国老施協 DWAT の設置について
(4) 養護・軽費等各ホーム職員の給与改善要望活動について

第4回老施協正副会長等会議

日 時 令和4年2月4日(金)午後2時から
会 場 富山県総合福祉会館
議 題 (1) 令和4年度事業計画、収支予算等について
(2) 東海北陸ブロック富山大会について
(3) その他

【研 修】

●施設長研修

【老施協・デイ協 合同研修】

●施設長・センター長研修

第1回研修

- 期 日 令和3年12月3日(金) 13時30分～
会 場 富山県総合福祉会館 1階福祉ホール
参加者 57名
内 容・講演「高齢者施設の災害対策 BCP」
(株)安全な介護 代表 山田 滋 様
・委員会報告
老施協各委員会委員長から報告
・介護の日フェスティバル報告、写真コンテスト表彰等

●施設長・センター長・事務長研修

- 期 日 令和4年1月21日(金) 14時～16時
会 場 オンライン配信研修(事務局)
参加者 45名
内 容 全国老施協 LIFE 研修「実践事例～LIFE 導入のプロセス」
講 師 全国老施協21世紀委員会委員長 服部 昭博 様
特養ホーム青山荘 機能訓練指導員 湯之谷 研志郎 様

●職員研修

県外研修 中止

●部会研修

- 事務長部会 担当 いなみ
期 日 令和3年9月29日(水)
場 所 ア・ミューホール
参加者 22名
内 容・講演「観光は富山の元気のもと」
富山県地方創生局次長・観光振興室長 宮崎 一郎 様

- 事務員部会 担当 ほっとはうす千羽
期 日 令和3年12月22日(水)
場 所 小矢部市民交流プラザ
参加者 43名
内 容・講演「科学的介護実現に向けた LIFE への完全対応とフィード
バックデータを活用する新経営戦略」
小濱介護経営事務所 小濱 道博 様

生活相談員部会 担当 三寿苑

期 日 令和3年10月1日(金)

場 所 呉羽ハイツ

参加者 65名

内 容・講演「生活相談員の基礎を学ぼう
ソーシャルワーカーの立ち位置を通して」

健康科学大学 健康科学部
準教授 梅沢 佳裕 様

介護職部会Ⅰ 担当 はまなす苑

期 日 令和3年11月16日(火)

場 所 オンライン研修(配信元 県民会館)

参加者 66名

内 容・講演「介護職員のためのアンガーマネジメントについて」

NPO 法人りばていーONE 代表
臨床心理士・公認心理師 坂本 美奈子 様

介護職部会Ⅱ 担当 あんどの里

期 日 令和4年1月14日(金)

場 所 オンライン研修(配信元 あんどの里)

参加者 65名

内 容・講演「身体拘束について」

広島県老人福祉施設連盟
会長 山中 康平 様

看護職部会 担当 常楽園

期 日 令和3年10月26日(火)

場 所 オンライン研修(配信元 サンシップ)

参加者 54名

内 容・講演「看介連携感染対策
～新型コロナ感染症クラスター支援を通して」

かみいち総合病院 感染認定看護師 看護師長 藤井 里美 様

・講演「椅子に座ってできるタイ式ヨガ」

タイヨガインストラクター 橋本 ひろみ 様

・講演「感染 Q&A」

かみいち総合病院 感染認定看護師 看護師長 藤井 里美 様

栄養士部会 担当 おらはうす宇奈月

期 日 令和3年10月5日(火)

場 所 オンライン研修(配信元 おらはうす宇奈月)

参加者 40名

内 容・講義「安全に飲食できる口腔ケア」

村田歯科医院 黒岩 恭子 様

地域福祉部会 担当 すみれ苑

期 日 令和3年11月17日(水)

場 所 オンライン研修(配信元 県民会館)

参加者 40名

内 容・講演「地域包括ケアシステムと特養ホームのあり方」
富山県福祉カレッジ 教授 田中 雅子 様

介護支援専門員部会 担当 カモメ荘

期 日 令和3年11月1日(月)

場 所 滑川市交流プラザ

参加者 53名

内 容・講義「今後の施設介護支援専門員に求められる役割」
南砺市地域包括支援センター長 主幹 竹内 嘉伸 様

21世紀委員会

(役員研修会)

期 日 令和4年2月25日(金)

場 所 サンシップとやま

参加者 15名

内 容・講演「科学的マネジメントの改革」
ポスト・ヒューマン・ジャパン(株)
社長 谷本 正徳 様

(役員会=7回)

(東海北陸ブロックカントリーミーティング in 岐阜)

令和4年2月8日(火)

●ブロック研修会

新川地区 担当 おらはうす宇奈月

期 日 令和3年11月16日(火)

場 所 オンライン研修(配信元 おらはうす宇奈月)

参加者 21名

内 容・講演 「笑顔あふれる職場づくりのために」
HEP コンサル 代表 榎本 圭太 様

富山地区 担当 ふるさと敬寿苑

期 日 令和4年3月1日(火)

場 所 オンライン研修(配信元 サンシップ)

参加者 21名

内 容・講演 「BCP 策定について」
(社福) 三寿会 理事 生駒 裕子 様

【各研究大会等】

- 富山県老人福祉施設大会 担当 大江苑
 - 期 日 令和3年7月15日(木)
 - 会 場 アイザック講義文化ホール ラポール
 - 参加者 141名
 - 内 容 ・優良職員会長表彰者 187名
 - ・第33回研究レポート入賞作品表彰
特別養護老人ホーム やなぜ苑 他4編
 - ・記念講演「笑顔の輪を咲かせよう」
講師 ころろ元気研究所長 鎌田 敏 様

- 2 職員レクリエーション大会(中止)

- 3 東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会(オンライン三重大会)
 - 期 日 令和3年9月13日(月)～30日(木)
 - 内 容 基調報告、情勢報告、分科会(7分科会)
記念講演

- 4 東海北陸ブロック カントリーミーティングin岐阜(オンライン)
 - 期 日 令和4年2月8日(火)
 - 参加対象 各県市老施協会長が推薦した次世代リーダー
候補者(21世紀委員)

- 5 全国老人福祉施設大会(オンライン山口大会)
 - 期 日 令和3年11月25日～令和4年3月31日
 - 富山県14施設申込

- 6 全国老人福祉施設研究会議(オンライン鹿児島会議)
 - 期 日 令和4年1月13日～令和4年3月31日
 - 富山県14施設申込

【その他】

- 職員レクリエーション大会 (中止)

- 研究レポート集の発刊

第2号議案

令和3年度収支決算について

富山県老人福祉施設協議会規約第12条第3項第2号の規定に基づき『令和3年度収支決算書』を別紙のとおり提出いたします。

令和4年5月27日

富山県老人福祉施設協議会
会長 岩井 広行

令和3年度老人福祉施設協議会事業収支決算書

【収 入】

単位：円

区 分	予算額	決算額	比較増減	備 考
131 会費収入	7,356,000	7,351,000	5,000	
134 補助金収入 (富山県補助金)	2,000,000	1,433,556	566,444	部会研修等補助
139 共同募金配分金収入 (介護職部会助成)	100,000	100,000	0	
140 デイ協事務負担金	50,000	50,000	0	
146 雑収入 (全国取扱手数料)	13,000	66,109	-53,109	
149 受取利息収入	1,000	108	892	
前期末支払資金残高(12) (前年度からの繰越金)	7,930,000	8,490,585	-560,585	
合 計	17,450,000	17,491,358	-41,358	

【支 出】

単位:円

区 分	予算額	決算額	比較増減	備 考
101 人件費(協議会運営事業)	3,040,000	2,978,179	61,821	
職員俸給(人件費)	3,000,000	2,933,270	66,730	職員2名分
法定福利費(労災保険)	40,000	44,909	-4,909	
102 事務費(協議会運営事業)	2,081,000	1,261,875	819,125	
103 事業費	11,129,000	4,094,827	7,034,173	
協議会運営事業	2,289,000	614,045	1,674,955	
富山大会等表彰関係	530,000	337,803	192,197	
役職員大会参加費	1,000,000	0	1,000,000	
委員(職員)等旅費	600,000	168,000	432,000	
及び参加助成				
県社協事務委託費	50,000	46,000	4,000	
行政財産使用料	100,000	62,242	37,758	
振込手数料	9,000	0	9,000	
研修事業	5,340,000	1,863,918	3,476,082	
事務員部会	400,000	217,608	182,392	
生活相談員部会	400,000	391,683	8,317	
介護職部会	800,000	173,750	626,250	
看護職部会	400,000	220,555	179,445	
栄養士部会	400,000	57,293	342,707	
調理員部会	0	0	0	
地域福祉部会	400,000	30,991	369,009	
ケアハウス部会	500,000	0	500,000	
介護支援専門員部会	400,000	133,252	266,748	
事務長部会	400,000	126,534	273,466	
施設長研修会	400,000	311,200	88,800	
21世紀委員会費	400,000	116,995	283,005	
ブロック研修会当	440,000	84,057	355,943	
調査・研究事業	1,500,000	807,419	692,581	
研究レポート	1,300,000	667,279	632,721	
現況調査	200,000	140,140	59,860	
大会・セミナー事業	1,700,000	803,300	896,700	
富山県大会	1,000,000	803,300	196,700	
レクリエーション	700,000	0	700,000	
東海北陸ブロック協準備委	300,000	6,145		
108 負担金(協議会運営事業)	600,000	420,973	179,027	
県社協負担金	500,000	320,973	179,027	
「介護の日」啓発活動費	100,000	100,000	0	
予備費(10)(協議会運営事業)	600,000	0	600,000	
合 計	17,450,000	8,755,854	8,694,146	

収入決算額 支出決算額 次年度繰越額
17,491,358 - 8,755,854 = 8,735,504

単年度収支 244,919

3年度収支決算書

令和4年5月

【収 入】	17,450,000	17,491,358	14,858,400	17,552,805
(内訳) 会費	7,356,000	7,351,000	10,278,000	10,278,000
補助金等	2,164,000	1,649,773	635,940	2,159,212
繰越金	7,930,000	8,490,585	3,944,460	5,115,593

【支 出】

(単位:円)

区 分	3年度予算	3年度決算	2年度決算	元年度決算
## 人件費(協議会運営事業)	3,040,000	2,978,179	2,839,933	2,860,118
職員俸給(人件費)	3,000,000	2,933,270	2,829,300	2,849,185
法定福利費(労災保険)	40,000	44,909	10,633	10,933
## 事務費(協議会運営事業)	2,081,000	1,261,875	1,388,171	1,511,976
## 事業費	11,129,000	4,094,827	1,623,121	8,508,398
協議会運営事業	2,289,000	614,045	447,040	2,090,157
富山大会等表彰関係	530,000	337,803	329,950	235,438
役職員大会参加費	1,000,000	0	0	561,580
委員(職員)等旅費	600,000	168,000	0	1,176,700
及び参加助成				
県社協事務委託費	50,000	46,000	46,000	46,000
行政財産使用料	100,000	62,242	71,090	70,439
振込手数料	9,000	0	0	0
研修事業	5,340,000	1,863,918	198,942	4,044,516
事務員部会	400,000	217,608	0	304,053
生活相談員部会	400,000	391,683	0	400,000
介護職部会	800,000	173,750	0	799,788
看護職部会	400,000	220,555	0	388,212
栄養士部会	400,000	57,293	0	0
調理員部会	0	0	0	206,630
地域福祉部会	400,000	30,991	0	266,745
ケアハウス部会	500,000	0	0	400,000
介護支援専門員部会	400,000	133,252	0	334,504
事務長部会	400,000	126,534	0	364,556
施設長研修会	400,000	311,200	78,619	223,302
21世紀委員会費	400,000	116,995	120,323	370,116
ブロック研修会等	440,000	84,057	0	0
調査・研究事業	1,500,000	807,419	853,639	950,342
研究レポート	1,300,000	667,279	714,599	811,302
現況調査	200,000	140,140	139,040	139,040
大会・セミナー事業	2,000,000	803,300	0	1,423,383
富山県大会	1,000,000	803,300	0	755,420
レクリエーション	700,000	0	0	667,963
東海北陸ブロック大会準備委	300,000	6,145		
## 負担金(協議会運営事業)	600,000	420,973	316,590	427,853
県社協負担金	500,000	320,973	316,590	327,853
「介護の日」啓発活動費	100,000	100,000	0	100,000
## 積立金(協議会運営事業)	0	0	0	0
予備費(10)(協議会運営事業)	600,000	0	200,000	300,000
合 計	17,450,000	8,755,854	6,367,815	13,608,345
収支差額	0	8,735,504	8,490,585	3,944,460
単年度収支	0	244,919	4,546,125	-1,171,133

資金収支計算書

(自 令和 3年 4月 1日 至 令和 4年 3月31日)

(単位：円)

勘定科目		予算	決算	差異	備考	
經常活動による収支	131 会費収入	7,356,000	7,351,000	5,000		
	01 会費収入	7,356,000	7,351,000	5,000		
	134 經常経費補助金収入	2,000,000	1,433,556	566,444		
	01 都道府県補助金収入	2,000,000	1,433,556	566,444		
	139 共同募金配分金収入	100,000	100,000	0		
	01 一般募金配分金収入	100,000	100,000	0		
	140 負担金収入	50,000	50,000	0		
	01 負担金収入	50,000	50,000	0		
	146 雑収入	13,000	66,109	△53,109		
	01 雑収入	13,000	66,109	△53,109		
	149 受取利息配当金収入	1,000	108	892		
	01 受取利息配当金収入	1,000	108	892		
	151 経理区分間繰入金収入	6,740,000	1,947,226	4,792,774		
	01 経理区分間繰入金収入	6,740,000	1,947,226	4,792,774		
	經常収入計(1)	16,260,000	10,947,999	5,312,001		
	支出	101 人件費支出	3,040,000	2,978,179	61,821	
		01 職員俸給	2,920,000	2,778,310	141,690	
02 職員諸手当		80,000	154,960	△74,960		
05 法定福利費		40,000	44,909	△4,909		
102 事務費支出		2,081,000	1,261,875	819,125		
01 福利厚生費		20,000	20,000	0		
02 旅費交通費		200,000	0	200,000		
03 研修費		50,000	18,000	32,000		
04 消耗品費		200,000	202,860	△2,860		
05 器具什器費		100,000	99,000	1,000		
06 印刷製本費		250,000	232,829	17,171		
10 通信運搬費		400,000	201,201	198,799		
11 会議費		150,000	49,822	100,178		
13 業務委託費		300,000	117,920	182,080		
14 手数料		50,000	59,290	△9,290		
16 賃借料		275,000	248,953	26,047		
18 渉外費		46,000	2,000	44,000		
19 諸会費		10,000	10,000	0		
21 雑費		30,000	0	30,000		
103 事業費支出		11,129,000	4,094,827	7,034,173		
01 諸謝金		3,070,000	1,370,331	1,699,669		
02 旅費交通費		1,805,000	105,972	1,699,028		
03 消耗品費		340,000	237,616	102,384		
05 印刷製本費		1,807,000	1,154,393	652,607		
10 通信運搬費		316,000	52,128	263,872		
11 会議費		1,485,000	284,111	1,200,889		
13 業務委託費		100,000	227,500	△127,500		
14 手数料		59,000	12,540	46,460		
15 損害保険料		25,000	0	25,000		
16 賃借料		1,522,000	482,236	1,039,764		
25 研修費		600,000	168,000	432,000		
108 負担金支出		600,000	420,973	179,027		
01 負担金支出	600,000	420,973	179,027			
111 経理区分間繰入金支出	6,740,000	1,947,226	4,792,774			
01 経理区分間繰入金支出	6,740,000	1,947,226	4,792,774			
經常支出計(2)	23,590,000	10,703,080	12,886,920			
經常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△7,330,000	244,919	△7,574,919			
施設整備等による	収入					
	支出					
	施設整備等収入計(4)	0	0	0		

資金収支計算書

(自 令和 3年 4月 1日 至 令和 4年 3月31日)

(単位：円)

	勘定科目	予算	決算	差異	備考
る 収 支					
	施設整備等支出計(5)	0	0	0	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0	
財 務 活 動 に よ る 収 支	財務収入計(7)	0	0	0	
	財務支出計(8)	0	0	0	
	財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	0	0	
	予備費(10)	600,000	0	600,000	
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△7,930,000	244,919	△8,174,919	
	前期末支払資金残高(12)	7,930,000	8,490,585	△560,585	
	当期末支払資金残高(11)+(12)	0	8,735,504	△8,735,504	

資金収支計算書

(自 令和 3年 4月 1日 至 令和 4年 3月31日)

(単位：円)

勘定科目		予算	決算	差異	備考
經常活動による収支	収入				
	131 会費収入	7,356,000	7,351,000	5,000	
	01 会費収入	7,356,000	7,351,000	5,000	
	140 負担金収入	50,000	50,000	0	
	01 負担金収入	50,000	50,000	0	
	146 雑収入	13,000	66,109	△53,109	
	01 雑収入	13,000	66,109	△53,109	
	149 受取利息配当金収入	1,000	108	892	
	01 受取利息配当金収入	1,000	108	892	
	經常収入計(1)	7,420,000	7,467,217	△47,217	
	支出				
	101 人件費支出	3,040,000	2,978,179	61,821	
	01 職員俸給	2,920,000	2,778,310	141,690	
	02 職員諸手当	80,000	154,960	△74,960	
	05 法定福利費	40,000	44,909	△4,909	
	102 事務費支出	2,081,000	1,261,875	819,125	
	01 福利厚生費	20,000	20,000	0	
	02 旅費交通費	200,000	0	200,000	
	03 研修費	50,000	18,000	32,000	
	04 消耗品費	200,000	202,860	△2,860	
	05 器具什器費	100,000	99,000	1,000	
	06 印刷製本費	250,000	232,829	17,171	
	10 通信運搬費	400,000	201,201	198,799	
11 会議費	150,000	49,822	100,178		
13 業務委託費	300,000	117,920	182,080		
14 手数料	50,000	59,290	△9,290		
16 賃借料	275,000	248,953	26,047		
18 渉外費	46,000	2,000	44,000		
19 諸会費	10,000	10,000	0		
21 雑費	30,000	0	30,000		
103 事業費支出	2,289,000	614,045	1,674,955		
01 諸謝金	530,000	305,903	224,097		
02 旅費交通費	900,000	0	900,000		
05 印刷製本費	0	31,900	△31,900		
11 会議費	100,000	0	100,000		
13 業務委託費	50,000	46,000	4,000		
14 手数料	9,000	0	9,000		
16 賃借料	100,000	62,242	37,758		
25 研修費	600,000	168,000	432,000		
108 負担金支出	600,000	420,973	179,027		
01 負担金支出	600,000	420,973	179,027		
111 経理区分間繰入金支出	6,740,000	1,947,226	4,792,774		
01 経理区分間繰入金支出	6,740,000	1,947,226	4,792,774		
經常支出計(2)	14,750,000	7,222,298	7,527,702		
經常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△7,330,000	244,919	△7,574,919		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	支出				
施設整備等支出計(5)	0	0	0		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0		
財務活動による収支	収入				
	財務収入計(7)	0	0	0	
支出					

資金収支計算書

(自 令和 3年 4月 1日 至 令和 4年 3月31日)

(単位：円)

	勘定科目	予算	決算	差異	備考
よ る 収 支					
	財務支出計(8)	0	0	0	
	財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	0	0	
	予備費(10)	600,000	0	600,000	
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△7,930,000	244,919	△8,174,919	
	前期末支払資金残高(12)	7,930,000	8,490,585	△560,585	
	当期末支払資金残高(11)+(12)	0	8,735,504	△8,735,504	

資金収支計算書

(自 令和 3年 4月 1日 至 令和 4年 3月31日)

(単位：円)

勘定科目		予算	決算	差異	備考
経常活動による収支	収入				
	134 経常経費補助金収入	1,500,000	766,277	733,723	
	01 都道府県補助金収入	1,500,000	766,277	733,723	
	139 共同募金配分金収入	100,000	100,000	0	
	01 一般募金配分金収入	100,000	100,000	0	
	151 経理区分間繰入金収入	3,740,000	997,641	2,742,359	
	01 経理区分間繰入金収入	3,740,000	997,641	2,742,359	
	経常収入計(1)	5,340,000	1,863,918	3,476,082	
	支出				
	103 事業費支出	5,340,000	1,863,918	3,476,082	
	01 諸謝金	1,420,000	651,129	768,871	
	02 旅費交通費	730,000	74,192	655,808	
	03 消耗品費	260,000	135,533	124,467	
	05 印刷製本費	558,000	352,667	205,333	
	10 通信運搬費	161,000	4,186	156,814	
11 会議費	1,085,000	219,687	865,313		
13 業務委託費	0	148,500	△148,500		
14 手数料	29,000	8,580	20,420		
16 賃借料	1,097,000	269,444	827,556		
経常支出計(2)	5,340,000	1,863,918	3,476,082		
経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	0	0	0		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	支出				
施設整備等支出計(5)	0	0	0		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0		
財務活動による収支	収入				
	財務収入計(7)	0	0	0	
	支出				
財務支出計(8)	0	0	0		
財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	0	0		
予備費(10)	0	0	0		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0		
前期末支払資金残高(12)	0	0	0		
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0	0		

資金収支計算書

(自 令和 3年 4月 1日 至 令和 4年 3月31日)

(単位：円)

勘定科目		予算	決算	差異	備考
經常活動による収支	収 入				
	134 經常経費補助金収入	500,000	667,279	△167,279	
	01 都道府県補助金収入	500,000	667,279	△167,279	
	151 経理区分間繰入金収入	1,000,000	140,140	859,860	
	01 経理区分間繰入金収入	1,000,000	140,140	859,860	
	經常収入計(1)	1,500,000	807,419	692,581	
	支 出				
	103 事業費支出	1,500,000	807,419	692,581	
	01 諸謝金	570,000	240,572	329,428	
	05 印刷製本費	799,000	557,700	241,300	
	10 通信運搬費	100,000	0	100,000	
	11 会議費	10,000	3,952	6,048	
	14 手数料	6,000	1,320	4,680	
16 貸借料	15,000	3,875	11,125		
經常支出計(2)	1,500,000	807,419	692,581		
經常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	0	0	0		
施設整備等による収支	収 入				
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	支 出				
	施設整備等支出計(5)	0	0	0	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0	
財務活動による収支	収 入				
	財務収入計(7)	0	0	0	
	支 出				
	財務支出計(8)	0	0	0	
財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	0	0		
予備費(10)	0	0	0		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0		
前期末支払資金残高(12)	0	0	0		
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0	0		

資金収支計算書

(自 令和 3年 4月 1日 至 令和 4年 3月31日)

(単位：円)

	勘定科目	予算	決算	差異	備考
経常活動による収支	収入				
	151 経理区分間繰入金収入	1,700,000	803,300	896,700	
	01 経理区分間繰入金収入	1,700,000	803,300	896,700	
	経常収入計(1)	1,700,000	803,300	896,700	
	支出				
	103 事業費支出	1,700,000	803,300	896,700	
	01 諸謝金	550,000	172,727	377,273	
	02 旅費交通費	50,000	31,780	18,220	
	03 消耗品費	80,000	102,083	△22,083	
	05 印刷製本費	450,000	212,126	237,874	
	10 通信運搬費	55,000	47,942	7,058	
	11 会議費	240,000	60,152	179,848	
	13 業務委託費	50,000	33,000	17,000	
	14 手数料	10,000	2,640	7,360	
15 損害保険料	25,000	0	25,000		
16 賃借料	190,000	140,850	49,150		
経常支出計(2)	1,700,000	803,300	896,700		
経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	0	0	0		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	支出				
	施設整備等支出計(5)	0	0	0	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0		
財務活動による収支	収入				
	財務収入計(7)	0	0	0	
	支出				
	財務支出計(8)	0	0	0	
財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	0	0		
予備費(10)	0	0	0		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0		
前期末支払資金残高(12)	0	0	0		
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0	0		

資金収支計算書

(自 令和 3年 4月 1日 至 令和 4年 3月31日)

(単位：円)

	勘定科目	予算	決算	差異	備考
経常活動による収支	収入				
	151 経理区分間繰入金収入	300,000	6,145	293,855	
	01 経理区分間繰入金収入	300,000	6,145	293,855	
	経常収入計(1)	300,000	6,145	293,855	
	支出				
	103 事業費支出	300,000	6,145	293,855	
	02 旅費交通費	125,000	0	125,000	
	11 会議費	50,000	320	49,680	
	14 手数料	5,000	0	5,000	
	16 賃借料	120,000	5,825	114,175	
	経常支出計(2)	300,000	6,145	293,855	
	経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	0	0	0	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	支出				
	施設整備等支出計(5)	0	0	0	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0	
財務活動による収支	収入				
	財務収入計(7)	0	0	0	
	支出				
	財務支出計(8)	0	0	0	
	財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	0	0	
	予備費(10)	0	0	0	
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	
	前期末支払資金残高(12)	0	0	0	
	当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0	0	

財 産 目 録

令和4年3月31日

一 般 会 計

(参考 前年度末)

普通預金 8,735,504円

8,490,585円

特別研修事業会計

(参考 前年度末)

普通預金 523,839円
(歓送迎会、県外研修、合同研修)

523,839円

積 立 金 勘 定

(参考 前年度末)

定期預金 6,301,001円

定期預金 6,301,001円

合 計 15,560,344円

備 品

ノートパソコン 3台

デジタルカメラ 1台

監 査 報 告 書

令和3年度富山県老人福祉施設協議会の収支決算について監査を行ったところ、経理事務・証拠帳票等いずれも適正に処理されていることを認めます。

令和4年5月10日

富山県老人福祉施設協議会

監 事 田 近 博 之 

監 事 向 井 文 雄 

第3号議案

役員承認について

富山県老人福祉施設協議会規約第7条第1項の規定に基づき役員承認を求めます。

令和4年5月27日

富山県老人福祉施設協議会
会長 岩井 広行

<参考>

富山県老人福祉施設協議会規約（抜粋）

（役員選任）

第7条 役員選任は次のとおりとし、総会の承認を得る。

- 2 理事は施設の長をもってあて、別表に定める4ブロックから13名及び軽費老人ホーム・ケアハウスの内から1名を選出する。
- 3 会長、副会長は、理事会で選任する。
- 4 監事は会長が指名する。

（役員任期）

第9条 役員任期は2年とする。ただし再任を妨げない。補充役員任期は残任期間とする。

【理事選出区分】

区 分	定 数	備 考
新川地区	2	
富山地区	5	
高岡地区	4	
砺波地区	2	
軽費・ケアハウス	1	

役員（補充）の就任

役職	氏名	施設名	選出区分	備考
理事	中島 嘉久	おらはうす宇奈月	新川	副会長
理事	黒田 紀代美	清寿荘	富山	

任期 令和5年3月31日まで

<参考>

辞任した役員

役職	氏名	施設名	選出区分	辞任年月日
理事	内橋 裕一	おらはうす宇奈月	新川	R4年3月31日
理事	田中 茂	椿寿荘	富山	R4年4月30日

令和4年度 富山県老人福祉施設大会開催要綱

趣 旨 富山県内の老人福祉施設関係者が集い、永年勤続者をたたえるところにも、地域におけるこれからの老人福祉施設の役割、サービスのあり方並びに施設利用者へのサービスについて研究し地域の老人福祉の向上を図る。

主 催 富山県老人福祉施設協議会

後 援 富山県 ・ 富山県社会福祉協議会

日 時 令和4年7月27日（水） 午後1時30分～

会 場 富山県総合福祉会館 （サンシップとやま）
富山県富山市安住町5-21 TEL：076-432-6141

参加者 (1) 参加者の範囲
・ 県内の老人福祉施設職員
・ 県及び市町村の老人福祉関係者
・ 社会福祉協議会関係者
・ その他
(2) 参加予定者 約150名

記念講演 講師 社会福祉法人 友愛十字会
特別養護老人ホーム ^{きぬた} 砧ホーム(東京都世田谷区)
施設長 鈴木 健太 様

演題 (仮)「介護ロボットと ICT 活用で介護施設はどう変わるか」

日 程

12:30	13:30	14:00	14:15	15:15
	受付	開会挨拶 表彰辞	祝辞 謝辞	休憩
				記念講演
				閉会

分科会テーマ・実践発表例

分科会	課 題	テ ー マ (例)
第1分科会	新型コロナ禍での施設運営	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での看取り ・施設感染者の発生時の対応 ・他施設への応援体制 ・入居者へのコロナ時の対応 ・コロナ対策の取り組み等 ・BCPについて (感染症・災害)
第2分科会	介護・福祉人材の確保、育成、定着戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・介護・福祉の普及・広報戦略 ・シニア層活用の職場とは ・広報の仕方を考える ・外国人介護従事者の活用等 ・働き方改革について
第3分科会	ケアのあり方を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケア ・地域貢献・共生社会について ・笑顔で働ける職場づくり等 ・看取りの工夫等 ・リスクマネジメント ・多職種連携の取り組み
第4分科会	これからの在宅サービスを考える	<ul style="list-style-type: none"> ・新時代のデイサービスとは ・楽しむ食事と栄養 ・楽しむりハビリ ・ICTによる利用者支援 ・社会参加支援
第5分科会	介護・軽費・ケアハウスの課題と今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・経営の効率化に向けて ・身寄りがない方の保証人について ・ICT化への導入と新たな取り組み ・入居者確保に関する取り組みや広報戦略
第6分科会	「科学的介護」・「ICT・介護ロボット」で現場革新 その他自由課題	<ul style="list-style-type: none"> ・現場革新 ・LIFEの活用方法 ・PDCAサイクル ・業務効率化 ・生産性向上について ・職員負担軽減への取り組み
実践事例	介護予防体操	・介護&スポーツチーム

大会事務局

富山県老人福祉施設協議会
〒930-0094 富山市安住町5-21 富山県総合社会福祉会館3F
TEL.076-431-6723 FAX.076-432-6064
HP.http://toyama-roushikyo.jp

大会開催趣旨

新型コロナウイルス感染症が収束する目途がつかない中、私たちの業界は、特に、感染すると重症化しやすい高齢者の皆さんに対するサービスを担っており、感染を未然に防止する観点から様々な対策を継続していかねばなりません。

また、地震、豪雨など自然災害に備えて「避難行動計画」や「業務継続計画(BCP)」を策定し、対応しなければなりません。

一方、2007年に超高齢社会(高齢化率21%超)に突入しましたが、すでに65歳以上の半数は、75歳以上となっています。さらに、団塊の世代が2025年に、75歳以上の後期高齢者(約2,180万人)となり、2045年には後期高齢者が21%を超える極超高齢社会となります。(数字は内閣府「高齢社会白書」)

これらに対応するには、さらに介護人材の確保、ICT等環境の整備、老朽化する施設の改修など介護職場の改善が急務となっております。

この研究大会を通じて、利用者も明るくそして職員も笑顔で「介護新時代」を迎える礎となれば幸いです。

多くの施設・事業所のご参加をお願いいたします。

- 参加対象 ① 老人福祉施設・事業所の従業員
② 老人福祉・介護事業に関わる行政、社会福祉協議会役員
③ その他本会が認めたもの

■参加費 1施設・事業所につき 6,000円

■申込先 別紙「参加ご案内」に記載の富山県老人福祉施設協議会ホームページ大会特設サイトにアクセスし参加登録を行ってください。
Webでの登録が困難な場合、直接「名鉄観光サービス株式会社富山支店」にご連絡いただき、参加申込をお願いいたします。

令和4年度

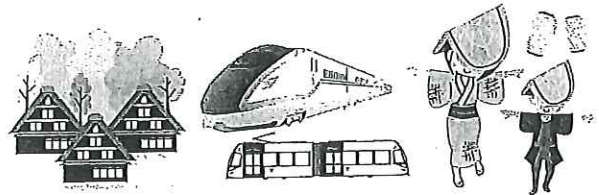
東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会
富山大会

開催要項

テーマ

「進め！介護“新・心・信”時代。」
～未来の扉を開くのはあなた～

オンライン開催



配信期間

令和4年9月5日(月)～9月30日(金)

※上記期間中は、すべての動画を何度でもご視聴いただくことができます。

主催 公益社団法人全国老人福祉施設協議会
東海北陸ブロック老人福祉施設協議会
富山県老人福祉施設協議会
富山県デイサービスセンター協議会
共催 社会福祉法人富山県社会福祉協議会

～大会プログラム～

テーマ

「進め！介護“新・心・信”時代。」
～未来の扉を開くのはあなた～

配信期間

令和4年9月5日(月)～9月30日(金)

プログラム

- ・全国老協協会長挨拶(動画) 平石会長
- ・主催者挨拶(動画) 岩井会長
- ・基調報告(全国老協協 動画)
- ・シンポジウム(座談会) 21世紀委員会
演題 「介護現場が抱える課題と展望」

分科会

6分科会+「介護予防体操」動画の放映

次期大会開催地挨拶(動画)

愛知・名古屋市

申込締め切り 令和4年8月26日(金)



2022年(令和4年) 4月27日 第669号 (毎週水曜日発行)

(株) 高齢者住宅新聞社 〒104-0061 東京都中央区銀座9-12-15 ☎03-3543-6852(編集部) 発行人 榎谷敏孝 年間購読料 23,100円(送料込・税込) https://koureisha-jutaku.com

TOPICS ニュース・総合 2面 認知症高齢者の総資産250兆円 介護BIZ 3~7面 水道使用量でフレイル検知 内装建材の体感スタジオ デイケア販売、利用者が加工補助 特集 10~13面 アンケート調査 見守りシステム、事業者7割超活用 医療 14~15面 転倒予防、多職種チームの結成を 商材・サービス 15面 ポータブル手洗器販売 関西 17~18面 大阪市唯一のホームホスピス ヘルスケアフォーカス 20面 藤沢SSTに6棟目着工

夜間の事故6割減に

ICT化推進、入院ゼロ

社会福祉法人宣康久会(富山市)では法人のブランド力向上の一環で、介護ロボット導入とICT化を進めている。夜間の事故や入院件数減少など、利用者のQOL向上と職員負担減につながった。そして、生まれた余裕を「法人の魅力発信」へと振り向けている。

社会福祉法人宣康久会



村井博昭 施設長 副

法人は富山市で、特別養護老人ホームささづ苑(定員・従来型48名・ユニット型22名)

転倒予兆に対応 生活リズム改善

と地域密着型特養などを展開している。法人で導入されている介護ロボット、ICT機器は表の通り。「先進的な事業に積極的にチャレンジする」という岩井広行理事長

Table with 2 columns: Equipment Name and Year of Introduction. Includes items like Groupware (2010), Transfer Lift (2012), Low Bed (2014), etc.

【法人で導入された主な機器】 グループウェア (2010年～) 移乗用リフト (2012年～) 超低床ベッド (2014年～) 離床アシストロボット (2017年～) タブレット端末(介護記録等) (2018年～) 移乗用介護ロボット (2019年～) 見守りセンサー (2019年～) 勤務表作成ソフト (2019年～) インカム (2020年～)

取り組みを行っている「と村井博昭副施設長は語る。10年に、生産性向上と情報共有、事務効率化のためグループウェアを導入。13年前後から腰痛予防に取り組み。予算の枠組みを決定した上で、若手中心のアプローチチームを特定、現場職員が率先して取り組む方針となった。国の補助金を

活用し、床走りリフトを導入。負担の少ない移乗方法が定着したことで、年間2〜3名は発生していた腰痛による離職者はゼロになった。21年にタブレット端末を活用した介護記録を推進している。PCの順番待ちがなくなり、利用者も接しながらい

記録も可能になった。「私が居たケア部門では、年間の残業時間は2〜3時間になりました(村井副施設長)。これまでの取り組みでICT化に取り組みの組織体制と、職員は一定のICTリテラシーが身についた。19年、県の補助金を活用してパラマウントベッドの「眠りスキャン」を事故リスクの高い利用者から導入。現在はささづ苑の全床で使用されている。転倒の予兆があるとき、職員は即座に対応できる。睡眠モニターは、日中の行動と照らし合わせて分析。睡眠が浅

い人には日中、軽作業やリハビリの量を増やすといった対応で生活リズムを改善した。19年9月の転倒・転落事故発生件数は44件。21年9月には17件へ減少。睡眠データの分析により、利用者が覚醒するタイミングに合わせて食事を提供することで、誤嚥性肺炎も減った。これらによって現状では入居者の入院はゼロになった。余力でケア向上の公益的な事業も職員に生まれた余裕

(東京都千代田区)が20日、「生産性向上の取組等に関する提案」の募集を開始した。「介護事業者等からの提案手法による生産性向上の取組に関する実証」において、積極的な介護事業者から取組みの提案を受け付け、ケアの質確保や職員負担軽減などの観点から効果実証する。実証施設のサービス種類は特段問わない。応募期限は5月18日。また、4月28日に説明会がオンラインで開催される。詳細は同社HPへ。

は、ケアの質向上や法人の魅力発信へとつながっている。法人では、21年報酬改定で新設された「自立支援促進加算」の算定に向けた取り組みが始まっている。地域イベントへの参加や、学

全国老施協LIFE研修 動画公開のお知らせ

全国老施協では、令和3年度、LIFEに関する研修の受講を希望する施設が所在の都道府県で研修に参加できるよう、LIFEに関する研修プログラムを作成し、各県での研修の実施を支援いたしました。今般、その研修をオンデマンド動画として作成いたしましたので、LIFEの理解のため、ぜひご活用ください。

会員施設・事業所の皆様は無料でご視聴いただけます。

動画は、本会ホームページ（LIFE活用ポータルページ）から会員ログインしていただき、ご覧ください。 <https://onl.sc/ZqPkMVL>



①概要編

○LIFEの導入背景・目的、活用方法について説明した動画

【講師】

全国老施協 副会長 小泉 立志

②実践事例編

- ①特別養護老人ホーム 青山荘
機能訓練指導員 湯ノ谷 研志郎
- ②特別養護老人ホーム サンタ・マリア
養護老人ホーム 聖ヨゼフホーム
総合施設長 平岡 毅
- ③飯倉駅前特別養護老人ホームシオン
介護支援専門員 常世田 正猪
- ④特別養護老人ホームあんのん
生活相談員 大道 陽介
- ⑤介護老人福祉施設 アルデンハイム加世田
理学療法士 楠元 寛之

③フィードバック 活用編

○LIFEのフィードバックの活用方法について説明した動画

【講師】

特別養護老人ホーム 鈴鹿グリーンホーム
施設長 服部 昭博

全国老施協LIFE研修プログラム

介護新時代「科学的介護」スタート

LIFEの導入背景、これからの
介護現場のあり方

公益社団法人全国老人福祉施設協議会
Japanese Council of Senior Citizens Welfare Service

全国老施協LIFE研修プログラム

LIFE 実践事例編①

特別養護老人ホーム サンタ・マリア
養護老人ホーム 聖ヨゼフホーム


公益社団法人全国老人福祉施設協議会
Japanese Council of Senior Citizens Welfare Service

全国老施協LIFE研修プログラム

LIFE フィードバック活用編

特別養護老人ホーム 鈴鹿グリーンホーム

公益社団法人全国老人福祉施設協議会
Japanese Council of Senior Citizens Welfare Service



事例に
学ぶ

外国人 介護人材 育成の ポイント

2020年には172万人を超えるまでに至った外国人労働者。年々活動の場は広がりつつあり、介護の分野においても大きな役割を果たすことが期待されています。

その一方で、外国人介護人材の受け入れを容易にするための様々な枠組みこそ整いつつあるものの、言葉の問題など、初めて受け入れる際の不安はつきものです。

このパンフレットでは、外国人介護人材をすでに活用している事業所へのアンケート調査にもとづき、「暮らし」、「コミュニケーション」そして「仕事／学習」の3テーマにおける、気づきと工夫について紹介しています。

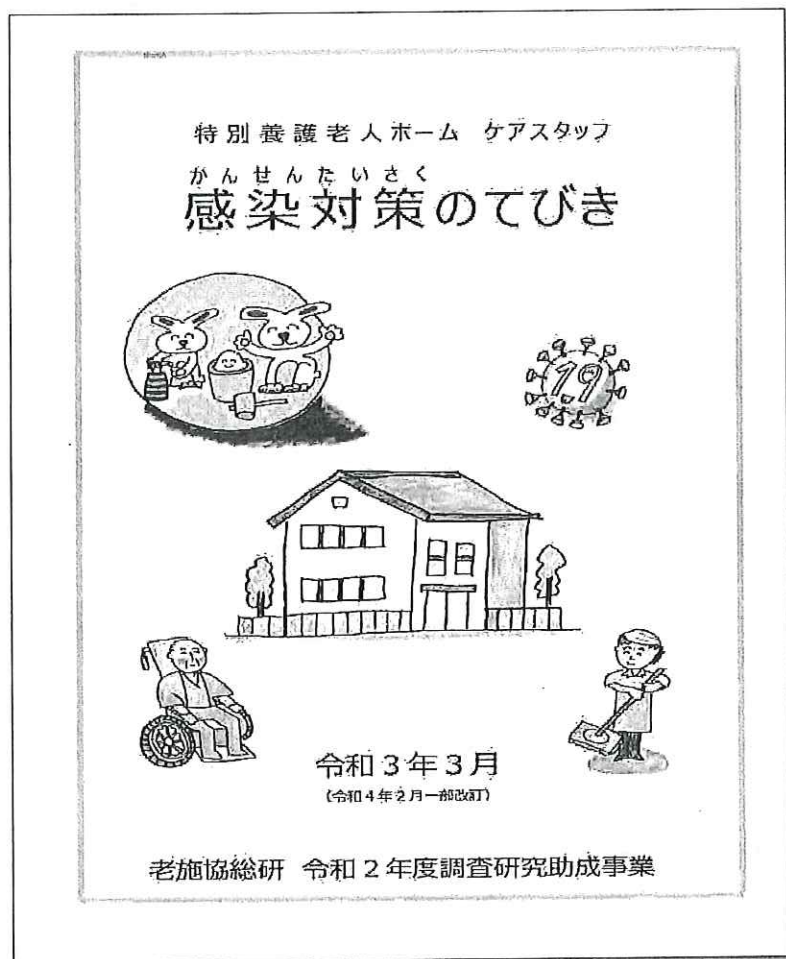
事業所の形態や地域、個人それぞれの状況が異なるため、これらの事例がそのまますべての現場に当てはまるものではありませんが、注意すべき事柄、配慮が必要なポイントについて、参考になるところは少なくないと思われます。より良い介護環境の醸成に向け、ぜひご活用ください。

特別養護老人ホーム ケアスタッフ 感染対策のてびき HP掲載のお知らせ

本会では、老人福祉及び介護事業の発展と国民の福祉のため、研究者の調査研究を支援する「公募調査研究助成事業」を実施しております。

その研究成果物である「感染対策のてびき」は、会員の皆様の活用が期待されるものであるとご好評をいただいております。この度、本会ホームページに本手引きを掲載いたしました。

ご施設・事業所の感染対策のため、ぜひ本手引きをダウンロードしていただき、ご活用ください。



研究代表者

日本赤十字豊田看護大学
看護学部看護学科 在宅看護学

講師 松田 優子 氏

監修：自治医科大学附属病院 感染制御部
副部長 笹原鉄平 氏

Point1

イラストを中心とし、ポイントを絞った説明となっております。

Point2

外国人ケアスタッフや初任者が活用できるよう、難解な漢字や言葉は使用せず、平易な説明となっております。

てびきのダウンロードはこちらから：<https://onl.sc/6LhcECv>



皆様のご意見をお聞かせください

「特別養護老人ホーム ケアスタッフ 感染対策のてびき」や今後研究を進めてほしいテーマについてご意見を募集しております。簡単なアンケートに、ぜひお答えください。

アンケートはこちらから ⇒ <https://forms.gle/RCGa5pc6Znpgnb2h9>

